

地域福祉計画 評価表

「目的達成度評価」

「事業遂行度評価」とは別個に、地域共生社会実現の観点から、年度ごとの効果を可視化し、把握するものとして、「目的達成度評価」を、以下のように設定する。

柱	1. 安全・安心に暮らせるまちづくり
	目的
	一人ひとりの人権が尊重され、誰もが住み慣れた地域で安全に、安心していきいきと暮らしていくことができるように、環境の整備や支え合いの仕組みづくりを推進します。

施策の方向(具体的な取組)

大項目	(1) 個人の尊厳と基本的人権を尊重し、地域の課題解決に向け、地域全体で進められる取組の推進・支援
	(2) 健康でいきいきと暮らしていくために、こころと体の健康づくりの推進
	(3) 災害時の被害を最小限にとどめる取組と地域による防犯・防災の取組の推進

「具体的な取組と目的達成のめやすとなる数値」

目的達成のめやすとなる数値	担当課	単位	基準値 R3 (2021)	実施状況					目標値
				年度	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R7 (2025)
各種人権啓発事業参加者数	人権啓発課	人	1,168	数値	1,420	2,735	2,804	2,494	4,960
				達成率	29%	55%	57%	50%	
健康づくり・食育アライアンス事業加入団体数	健康づくり推進課	団体	73	数値	86	97	113	125	100
				達成率	86%	97%	113%	125%	
防災出前講座実施回数	危機管理室	回	18	数値	44	66	104	81	60
				達成率	73%	110%	173%	135%	
防犯カメラ設置事業補助台数	総務課	台 (累計)	10	数値	19	32	38	44	45
				達成率	42%	71%	84%	98%	
地域安全・安心見守り事業防犯カメラ設置台数	総務課	台 (累計)	—	数値	22	44	66	88	66
				達成率	33%	67%	100%	133%	

「評価」

『1. 安全・安心に暮らせるまちづくり』として38の取組を実施し、この中から5つの数値目標を設定しました。

「各種人権啓発事業参加者数」は目標値に対しての達成率は低い状況ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定員を制限するなどの対策を行った令和4年度と比べ、令和5年度から令和7年度の数値は増加しています。今後も参加者数を増やすための取り組みが必要です。

「健康づくり・食育アライアンス事業加入団体数」、「防災出前講座実施回数」、「地域安全・安心見守り事業防犯カメラ設置台数」は、目標値を達成しています。

「防犯カメラ設置事業補助台数」は目標値をほぼ達成しています。

安全・安心に暮らせるまちづくりの実現に向け、引き続き各取組を実施します。

柱	2. 市民が主体となった地域福祉活動の推進
	目的
	人材の発掘・育成や支え合いの仕組みづくり、地域での活動拠点の整備を進めます。

施策の方向(具体的な取組)

大項目	(1) 地域福祉活動への参加意欲を持っている人が、気軽に活動に参加できるきっかけづくりの支援
	(2) 地域での世代間交流や学校での福祉体験学習等を通じて、「向こう三軒両隣」で支え合う福祉文化を育む取組の推進
	(3) ボランティアの育成や活動の支援
	(4) 地域福祉活動の基盤となる地域コミュニティの活性化の推進
	(5) 地域福祉活動や交流の拠点整備の推進

「具体的な取組と目的達成のめやすとなる数値」

目的達成のめやすとなる数値	担当課	単位	基準値 R3 (2021)	実施状況					目標値 R7 (2025)
				年度	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	
学区福祉委員会登録者数	学区福祉委員会	人	1,242	数値	1,154	1,064	1,036	987	1,400
				達成率	82%	76%	74%	71%	
人材バンク活用件数	生涯学習課	件	16	数値	37	27	53	29	65
				達成率	57%	42%	82%	45%	
健康長寿サポーター登録者数	長寿生きがい課	人	194	数値	214	256	283	301	350
				達成率	61%	73%	81%	86%	
地域コミュニティ活性化事業補助金利用件数	市民協働推進課	件 (累計)	1	数値	6	12	17	20	6
				達成率	100%	200%	283%	333%	

「評価」

『2. 市民が主体となった地域福祉活動の推進』として42の取組を実施し、この中から4つの数値目標を設定しました。

「学区福祉委員会の登録者数」は、福祉委員強化月間等を通じ、地域の福祉活動に関わる新規委員は増えましたが、退任者数が上回り、基準値から減少しています。地域での支え合いの仕組みづくりのため、活動していただきやすい環境づくりに努めるほか、活動の周知・広報を行う等、登録者数の増加に向けた様々な取り組みを行う必要があります。

「人材バンク活用件数」は基準値と比べ増加していますが、年度ごとに利用件数の増減があり、利用しやすい環境づくりに努める必要があります。

「健康長寿サポーター登録者数」は基準値と比べ増加しており、目標値に近づいています。

「地域コミュニティ活性化事業補助金利用件数」は基準値より増加しており、目標値も達成しています。

人材の発掘・育成や、支え合いの仕組みづくり、地域での活動拠点の整備を行い、市民が主体となった地域福祉活動が推進できるよう、引き続き各取組を実施していきます。

柱	3. ゆるやかな支え合い	
	目的	
	支援が必要な人を地域でゆるやかに支え合いながら、困りごとがあったとき、いざというときには迅速に対応できる地域での支え合いネットワークづくりを推進します。	

施策の方向(具体的な取組)

大項目	(1) 一人ひとりの考え方や生活スタイルの違いを尊重しながら、地域で見守り、支援が必要な人を早期発見、解決へ導く取組の推進
	(2) 地域福祉の担い手として活動している人々の連携の強化

「具体的な取組と目的達成のめやすとなる数値」

目的達成のめやすとなる数値	担当課	単位	基準値 R3 (2021)	実施状況					目標値 R7 (2025)
				年度	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	
れもねいど加盟団体	長寿生きがい課	団体	82	数値	84	86	92	96	100
				達成率	84%	86%	92%	96%	
ボランティア活動センター登録団体数	宇治ボランティア活動センター	団体	51	数値	53	54	53	50	50
				達成率	106%	108%	106%	100%	
ボランティア活動センター登録者数	宇治ボランティア活動センター	人	1,069	数値	1,160	1,262	1,293	1,200	1,250
				達成率	93%	101%	103%	96%	

「評価」

『3. ゆるやかな支え合い』として、16の取組を実施し、その中から3つの数値目標を設定しました。
「れもねいど加盟団体」は基準値から増加しており、目標値をほぼ達成しています。
「ボランティア活動センター登録団体数」の数値については、目標値を達成しています。
担い手の育成や支援を行うとともに、連携強化を図ることによって、ゆるやかに支え合うネットワークづくり推進のため、引き続き各取組を実施していきます。

柱	4. 多様な福祉サービスの創生と展開
	目的
	地域で支援を必要としている様々な立場の人のニーズを把握し、行政や事業者による適切な福祉サービスの提供を推進します。

施策の方向(具体的な取組)

大項目	(1) 支援が必要な人に対して必要なサービスが円滑に提供できるような支援
	(2) 地域の福祉サービス事業者等との連携やNPO、市民活動団体への支援の取組の推進
	(3) 多様な地域課題を包括的・重層的に受け止め、関係機関が連携して解決へと導く体制の構築
	(4) 地域での生活不安や困難に対応するセーフティネットとなる施策や活動の推進

「具体的な取組と目的達成のめやすとなる数値」

目的達成のめやすとなる数値	担当課	単位	基準値 R3 (2021)	実施状況					目標値
				年度	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R7 (2025)
ゲートキーパー研修参加者数	地域福祉課	人	—	数値	21	35	57	54	50
				達成率	42%	70%	114%	108%	
地域つながり活動支援事業補助金助成団体数	地域福祉課	団体	—	数値	3	11	12	15	20
				達成率	15%	55%	60%	75%	
学習支援事業 うじピョンの学び舎総参加人数	宇治市社会福祉協議会	人	824	数値	947	918	922	1,001	1,344
				達成率	70%	68%	69%	74%	

「評価」

『4. 多様な福祉サービスの創生と展開』として21の取組を実施し、この中から3つの数値目標を設定しました。

「ゲートキーパー研修参加者数」は令和6年度から開催回数を2回に増やし入門編・フォローアップ編を開催したことで、目標値を達成しました。

「地域つながり活動支援事業補助金助成団体数」については数値が増加していますが、引き続き、活用事例の紹介等、利用の促進に向けて広報等に力を入れていく必要があります。

「学習支援事業 うじピョンの学び舎参加人数」は基準値より増加していますが、参加人数の増加(出席率の増加)に向けた取り組みが必要です。また、市では、うじピョンの学び舎を含めて3拠点の学習支援事業を委託により運営しており、今後も、より効果の高い実施手法を検討しつつ支援を継続します。

引き続き、多様な福祉サービスの創生と展開に向けて、ニーズの把握と共に、周知・広報に力を入れて取り組みます。

柱	5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供
	目的
	地域で支援を必要としている人からのSOSを見逃さず、必要な情報や適切な福祉サービスの利用につなげていく人と人とのネットワークづくりを支援し、きめ細やかな相談体制の構築を推進します。

施策の方向(具体的な取組)

大項目	(1) 困ったときに気軽に相談できる仕組みづくりの推進
	(2) 成年後見制度等の権利擁護に関する制度や取組の推進
	(3) より効果的な広報・情報提供の推進
	(4) 利用者の満足度を高める取組の推進

「具体的な取組と目的達成のめやすとなる数値」

目的達成のめやすとなる数値	担当課	単位	基準値 R3 (2021)	実施状況					目標値 R7 (2025)
				年度	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	
ひきこもり市民講演会参加人数	地域福祉課	人	125	数値	108	95	121	120	160
				達成率	68%	59%	76%	75%	
宇治市LINE登録者数	秘書広報課	人 (累計)	13,318	数値	16,347	19,342	22,868	28,219	30,000
				達成率	54%	64%	76%	94%	
デジタルデバйд対策講座参加人数	デジタル政策課	人	-	数値	639	642	431	527	450
				達成率	142%	143%	96%	117%	
介護サービス相談員派遣事業所数	介護保険課	事業所	30	数値	30	30	30	30	31
				達成率	97%	97%	97%	97%	

「評価」

『5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供』として21の取組を実施し、この中から4つの数値目標を設定しました。

「ひきこもり市民講演会参加人数」は、支援を必要としている人からのSOSを見逃さず支援に繋げるため、参加人数の増加に向けて、引き続き周知・広報に力を入れる必要があります。

「宇治市LINE登録者数」は順調に増加し、目標値をほぼ達成しました。

「デジタルデバйд対策講座参加人数」は目標値を達成しており、市民が必要な情報を取得できるための環境構築を引き続き推進します。

「介護サービス相談員派遣事業所数」は基準値から横ばいですが、目標値をほぼ達成している状況です。

安心して利用できる相談体制の構築のため、相談体制の充実を図るとともに、相談窓口の認知度の向上や相談窓口間の連携強化に取り組むほか、引き続き各取組を着実に実施していきます。